

平成30年度 第4回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時：平成30年10月29日(月) 13時00分～13時52分
2. 場 所：【鹿屋体育大会会場】鹿屋体育大学管理棟2階 大会議室
【東京会場】 筑波大学東京キャンパス文京校舎3階 320講義室
3. 出席者：【学内委員】松下、森、石田の各委員
【学外委員】泉、岩切、上治、小館、宮嶋の各委員
4. 列席者： 緒方監事、岩重監事、荻田学長補佐、瓜田学長補佐、濱田学長補佐、事務局次長兼教務課長、学生課長、総務課長、経営戦略課長、財務課長、施設課長、学術図書情報課副課長

5. 内容

(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)

1) 前回議事要旨確認(資料1、資料2)

平成30年度第2回経営協議会議事要旨案及び平成30年度第3回経営協議会議事要旨案について確定された。

2) 審議事項

(1) 平成30年度国立大学法人鹿屋体育大学補正予算について(資料3)

石田理事から配布資料に基づき、平成30年度鹿屋体育大学補正予算について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3) 報告事項

(1) 平成29事業年度財務諸表の承認について(資料4)

浦口財務課長から平成29事業年度財務諸表について説明があった。

(2) 2019年度文部科学省概算要求について(資料5)

浦口財務課長から2019年度文部科学省概算要求について説明があった。

(3) 平成30年度人事院勧告について(資料6)

藏田総務課長から配布資料に基づき、平成30年度人事院勧告について説明があった。

(4) 大学横断的かつ競技横断統括組織(日本版NCAA)創設事業への応募結果について(資料7)

瓜田SA室長から配布資料に基づき、日本版NCAA創設事業への応募結果について説明があった。

(5) 国立大学法人鹿屋体育大学とシエルブルー株式会社との連携及び協力に関する協定の締結について(資料8)

永松経営戦略課長から配布資料に基づき、鹿屋体育大学とシエルブルー株式会社との連携及び協力に関する協定の締結について説明があった。

○大学の施設を無償でシエルブルーに貸すというイメージがあるが、強化費をもらうという方向性は考えていないのか。

●現時点では、本学の施設は本学卒業生のみでの使用と考えているが、シエルブルーからはパラリンピックの選手にも使わせてほしいという依頼がある。そういう場合には少しずつ、施設使用が加わるのではないかと考えている。選手のデータをそのまま研究に活かしてもよいという承諾はシエルブルーから頂いている。金銭的なことは将来的に考えていきたい。

○どの種目においてオリンピックでメダルの可能性が高いか。また、事前合宿やコースのインスペクション等はどのような計画なのか。

●自転車競技部の卒業生及び現在本学学生であるその妹が国際大会で活躍している。

●シエルブルーでは複数の卒業生がオリンピックを目指している。

○試合をする際に、ゲームウェアに大学の名前が入るのか。

●現時点では入っていない。早急に確認する。

○6社くらいまでは入れられるので、ぜひ検討して頂きたい。

(6) タイ王国女子バレーボールナショナルチームの来学について(資料9)

永松経営戦略課長から配布資料に基づき、タイ王国女子バレーボールナショナルチームの来学について説明があった。

○タイからは年間100万人くらいが日本を訪れるが、九州も非常に人気がある。インバウンドを兼ねてバレーを機会にいろいろな展開ができればいいが。

○鹿児島空港の国際便は、ソウル、香港、上海、台北路線で週32便ある。タイからはチャーター便を誘致しようとしている。2020年には鹿児島国体も開催されるので、売り込みに力を入れたい。

●タイへ行ったときに、観光庁長官にも会ったが、女子バレーボールチームはアイドル的な存在であり、バレーボールチームが行った場所は国民も興味があるということである。次回はジュニアチームを鹿屋に送りたいという話もあるので、今回だけでなく継続してつながればいいと考えている。

4) 学内外の諸情勢について

(1) 鹿屋体育大学国際スポーツアカデミー第8回セミナーについて(資料10)

荻田学長補佐から配布資料に基づき、国際スポーツアカデミー第8回セミナーについて報告があった。

○国際的なセミナーを開催しているところは多いと思うが、今までセミナーに参加した人の追跡調査等を行い、それ以降どう活躍しているのか検証していかなければならないのではないかと。

●スポーツ庁からも同様の指摘があるため、現在追跡調査を行っているところである。

●昨年、研究発表の会議を行った。将来的にはネットワークを使い、共同研究に発展していければよいと考えており、追跡調査を行っていく予定である。

(2) 学生の競技成績について(平成30年6月～9月)(資料11)

瓜田学長補佐から配布資料に基づき、学生の競技成績について報告があった。

○自転車競技部は良い成績を毎回残しているが、鹿屋のトラックは良い環境であるのか。

○根占自転車競技場(南大隅町)があるが、2020年の鹿児島国体に向けてバンクの角度等含め、改修中である。併せて合宿誘致のために周辺の駐車場の整備などを県としては進めている。

●前回の鹿児島国体の時に、本学から車で3,40分のところに根占自転車競技場が開設された。学生は、根占までロードで行き、トラックで練習して帰ってくるという練習環境である。

また、大隅半島は車が少ないので、ロードにもいい環境である。

○シエルブルーとの提携については、施設を供用するのかと考えていたが、この提携は、卒業生のセカンドキャリア的なところも含めての提携の意味合いが強いのか。

●ご指摘の部分もあるが、もう一つは測定において、スポーツトレーニング教育研究センターの低酸素トレーニング室で高地トレーニングが行うことができるが、そういう意味で施設を使う要素は高いと

考えている。また、測定で得たデータを研究に使える許可はもらっている。

5) その他

(1) 東京サテライトキャンパスの移転について(資料12)

石田理事から、東京サテライトキャンパスの移転について説明があった。

(2) 平成30年度の経営協議会開催日程について(資料13)

藏田総務課長から配布資料に基づき、平成30年度の経営協議会開催日程について説明があった。